

鳥おじいちゃんの講演会!!



中学校では、進路・キャリア教育の啓発事業として、毎年秋の教育月間に、「ふれあい講演会」を実施しています。

今年は、11月7日（金）、この広報でも紹介した、吉野川とその周辺の里山で野鳥の写真を撮り続けている村岡在住の寺山さんをお招きして、「吉岡の里で出会う 小さな幸せ」と題するお話をしていただきました。

寺山さんは御年83歳、お元気です。日の出前から大きなカメラを携え、平塚新田の赤地蔵から吉野川を遡って野鳥に逢うため歩きます。野鳥の世界に無遠慮に立ち入ることなく、鳥たちが人間を自然に受け入れる距離感を上手に図って、生き生きした写真を撮っていきます。会場には、たくさんの写真パネルが掲示され、スクリーンに映された鳥の写真について話されました。

生態ピラミッドの頂点に立つタカ科の鷹（トビ）や鷲（ノスリ）、大鷹（オオタカ）や鷯（ハイタカ）、ハヤブサ科の長元坊（チョウゲンボウ）。空中でホバリングしながら花の蜜を吸うスズメガ科の蜂雀（ホウジャク）など、身近にこんな豊かな自然があるのかと驚きます。

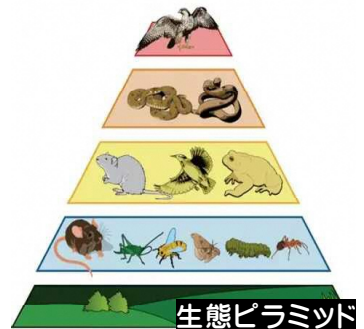
吉岡の里は、お年寄りにはとてもありがたいフィールドですと話されていました。とりわけ、吉野川は「空飛ぶ宝石」と称される川蜉（カワセミ）の宝庫で、朝昼晚いつでも出会える川でした。でも、近年の吉野川河岸工事でコンクリート護岸となり、ここでは見られなくなると話されていました。また、オオタカやイタチなど、かつては見られた生き物が、最近は見られなくなったそうです。

近年、自然とふれあう子供たちの姿をますます見かけなくなりました。小さな講演を通して、未来世代が身近な地域の自然に目を向け、その変化をも感じられるようになれば、SDGs（持続可能な開発目標）の一步かなと思いました。また、地域には、里山や風土、歴史や文化財、伝統芸能等、吉岡を語れる人材が埋もれているのではないかと思います。P3 では、荒川の伝統漁法を紹介します。

11月の里山活動は、11月9日（日）に行われました。自治会の皆様、立正大学関係者、中学校関係者、PTA、個人ボランティアなど20数名とシルバー人材センター会員6名の参加者が、北斜面の間伐等を行いました。12月の活動では、ヤマツツジやヤマユリの植栽を行う予定です。今回は小雨の中での活動でしたので、活動の写真はありません。お疲れ様でした。



2025 ふれあい講演会



写真パネルを見る生徒

次回活動日

12月14日(日) 9:00~

植栽を予定(吉中駐車場集合)



カラー版

熊谷市HPに掲載中!!

吉小・吉中 コスモス祭に協力!!



満開のコスモス(2025/10/23撮影)



吉小1・2年生コスモスの絵



ご協力ありがとうございました!!

吉中文芸部コスモス祭の立看

